

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 奈良時代

名前

得点

/9

**問1** 7世紀後半、日本（倭）が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した後、大陸からの侵攻を警戒して九州北部の防衛を強化するために配置された兵士を何と呼びますか。 （2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 防人                                      2. 屯田兵                                      3. 足輕                                      4. 健児

**問2** 奈良時代の743年に issued、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにするを認めた法令を何といいますか。 （2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 三世一身の法                                      2. 班田収授法                                      3. 墾田永年私財法                                      4. 大宝律令

**問3** 古代の律令制度において、戸籍に基づいて人々に割り当てられた「口分田」に関連し、その土地の面積に応じて収穫した稲を納める義務があった税の名称を答えなさい。 （2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 租    2. 調    3. 庸    4. 公事

**問4** 奈良時代、ききんや政治的な混乱、さらには病気の流行といった社会不安が続く中、仏教の力によって国の平和と安寧を守ろうとする思想が広まりました。この「鎮護国家」の思想に基づき、当時の都に東大寺を建立し、大仏の造立を命じた天皇はどれですか。 （2026年 鳥取公立入試 類似）

1. 聖武天皇    2. 天智天皇    3. 桓武天皇    4. 推古天皇

**問5** 8世紀の土地制度の変遷において、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために出された、新しく開墾した土地の永久的な私有を認める法令は何ですか。また、その法令が出された時期と平安京への遷都の時期との前後関係を正しく説明しているものはどれですか。 （2025年 京都公立入試 類似）

1. 墾田永年私財法が公布された後、8世紀末に平安京へ遷都した                                      2. 平安京への遷都が行われた後、9世紀に墾田永年私財法が公布された                                      3. 白村江の戦いの直後に、土地の私有を認める墾田永年私財法が公布された                                      4. 大宝律令の制定と同時に、墾田永年私財法によって私有地が認められた

**問6** 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。 （2026年 沖縄公立入試 類似）

1. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。                                      2. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。                                      3. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。                                      4. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。

**問7** 710年に現在の奈良県に遷都された平城京は、当時の東アジアにおいて強大な影響力を持っていたある国の都をモデルに設計されました。そのモデルとなった国の名前と、都の名称の正しい組み合わせを選びなさい。 （2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 唐の長安    2. 隋の長安    3. 唐の洛陽    4. 隋の大興城

**問8** 万葉集の内容について、他の時代に編纂された和歌集と比較した際に見られる際立った特徴として適切な説明はどれですか。 （2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点                                      2. 紀貫之らによって、すべて平仮名を用いた繊細で優美な表現のみでまとめられている点                                      3. 後鳥羽上皇の命令によって、武士の台頭に対抗する公家文化の象徴として編纂された点                                      4. 全編が仏教の教えを広めるための宗教的な目的で構成されている点

**問9** 奈良時代、聖武天皇は「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。この政策がとられた当時の背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 （2018年 香川公立入試 類似）

1. 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした                                      2. 武士の間に禅宗を広めることで、鎌倉幕府に対する忠誠心を高めようとした                                      3. 一向一揆のような大規模な民衆の蜂起を抑えるため、既存の寺院の統制を強化した                                      4. 法然が説いた浄土宗を全国に普及させ、個人の魂の救済を第一の目的とした

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>防人</b>	663年の白村江の戦いで敗れた倭は、唐や新羅による報復や日本への侵攻を恐れ、大宰府などがある九州北部の沿岸部を防衛する必要に迫られました。そのため、水城や大野城を築くとともに、沿岸を警備する「防人」を配置して国防を強化しました。
問2	<b>答え 3</b> <b>墾田永年私財法</b>	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問3	<b>答え 1</b> <b>租</b>	律令国家では班田収授の法により、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この土地の面積（段数）に応じて、収穫した稲の3%程度を納める税が「租」です。これに対し、地方の特産物を納めるのは「調」、都での労役の代わりに布を納めるのは「庸」と呼ばれます。
問4	<b>答え 1</b> <b>聖武天皇</b>	奈良時代の中頃、社会的な混乱を仏教の力で鎮めようとしたのは聖武天皇です。天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建てることを命じ、その中心（総国分寺）として東大寺を位置づけました。これは、仏教を国家の守りとする「鎮護国家」の思想を具体化したものです。
問5	<b>答え 1</b> <b>墾田永年私財法が公布された後、8世紀末に平安京へ遷都した</b>	743年に出された墾田永年私財法は、公地公民の原則を崩し、貴族や寺社による大土地所有（初期荘園）のきっかけとなりました。この法令は奈良時代の出来事であり、その後の794年に、政治を立て直す目的などで山背国に平安京が造営されました。
問6	<b>答え 1</b> <b>シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。</b>	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問7	<b>答え 1</b> <b>唐の長安</b>	平城京は、元明天皇の時代の710年に、それまでの藤原京から遷都して造営されました。この都は、当時、東アジアの政治・文化の中心として栄えていた唐の都である「長安」をモデルとして設計されており、碁盤の目のように区切られた整然とした街並みが特徴です。当時の日本は遣唐使を派遣し、大陸の進んだ制度や文化を積極的に取り入れていました。
問8	<b>答え 1</b> <b>天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点</b>	万葉集には、北九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の暮らしを詠んだ「東歌（あずまうた）」などが含まれています。このように名もなき人々の素朴で力強い感情が収められている点は、後の時代の貴族中心の勅撰和歌集には見られない、この時代特有の大きな特徴です。
問9	<b>答え 1</b> <b>仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした</b>	奈良時代、日本では天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の安定を祈る「鎮護国家」の思想を重視し、全国に寺院を設置することで体制を整えようとした。選択肢にある禅宗や一向一揆、浄土宗などは、いずれも鎌倉時代や室町時代といった後の時代の出来事に関連するものです。